

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1270400821		
法人名	株式会社 武上		
事業所名	グループホームノーマライ心の花御成		
所在地	千葉県若葉区下田町1263-56		
自己評価作成日	令和4年2月28日	評価結果市町村受理日	令和4年7月7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと		
所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7		
訪問調査日	令和4年3月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

法人の理念である『明るく楽しく笑顔で共に暮らす そして人として心の花を咲かそう』を、スタッフ一人一人が理解し体現に努め、入居者様に対する日々のケアに従事している。入居者様の笑顔を引き出す事は基より、事業所名にもなっている『ノーマライゼーション』の由来のように、障害の有無に関わらず入居者様お一人お一人のペースに合わせ、入居者様に寄り添いながら、これまでの生活を出来る限り継続していけるよう日々のケアを提供している。家庭的な雰囲気と食を重んじ入居者様とスタッフの顔なじみの環境を大切に、その方々の認知症症状に合わせて柔軟に、想いに寄り添うケアを心掛けている。事業所を開設し約17年が経過し、ご本人・ご家族様の希望に合わせて看取り対応も行っており、自然な最期を迎えられている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を各ユニット毎に掲示し、内容を理解した上で意識化し日々の支援に取り組んでいます。入居者様の自立支援・自己決定を重んじながら言葉使いや声掛けにも配慮し支援しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染対策の為入居者様の地域との交流は現在行っておりませんが、職員は近隣の方々に積極的に挨拶や言葉かけを行っております。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議において認知症の理解を深めるために細かな現状報告を行うと共に地域の現状把握及びできる事などの提案に努めています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、事業所の現状を把握していただく為に細かな現状報告を行うと共に、地域包括と民生委員様のご協力を得、施設見学会を実施しました。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター職員と常に連携を図り、ホームの見学や入居相談、入居者様の相談も含め連携を図っております。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修を行い身体拘束の理解に努め、入居者様の日常の心身状態を把握すると共に行動の変化を共有し、入居者様が落ち着いた笑顔で過ごせるように、言葉かけの工夫等を常に行い支援しております。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会に参加するとともに、言葉による虐待等も十分注意し、職員同士でも気軽に注意できる環境を作っております。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域包括支援センターや社会援護課と連携を図り支援しております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約・改定等には面談の上ご入居者様・ご家族様の権利や義務をわかりやすく説明すると共に、質問に応じ、十分に理解・納得していただけるように努めております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会及びSNSや電話等活用し、情報提供や意見交換を行い運営に反映すると共に、ご入居者様にも日々会話の中で意見や要望を確認させていただき、反映しています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム内、日常的に発言しやすい環境を作ると共に、職員にも積極的に声掛けを行い意見や提案を聞く機会を設け反映しています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	実績や資格取得等による昇給の仕組みがあり、常にやりがいや働く環境整備にも配慮し努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	様々な人材に対して、より実力を発揮できるよう各々の成長スピードに合わせた人材育成を実施すると共に、内部研修も積極的に行いながら、外部研修の機会も設け、職員の能力向上に努めております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ感染対策の為、相互訪問はできていない現状ですが、ネットワークで意見交換や情報収集を図ると共に、代表者が関係を持った同業者の話と共有しサービスの向上を図っています。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回面接を含み、介入段階からご本人様やご家族様と連携を図り、要望や不安等傾聴し、安心していただける関係作りに努めております。利用前であっても、いつでも相談に応じられる事も伝えております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談や見学時に、困っている事や不安・要望を伺い、密に連絡を取り合ながら信頼関係の構築を図ると共に、不安軽減につなげられる様に努めております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	施設見学や入居前情報からご本人様のADLや認知症状の状況を確認させていただくと共にニーズの把握やアセスメントにも力を入れご本人様の状態にあったサービスが提供できる様努めております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に生活させていただくという姿勢を大切にし、時には職員が入居者様に甘えたりと、職員も入居者様に喜怒哀楽を出しながら、お互いが家族のような関係になれる様に努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ビデオ通話や電話等、ご家族様と連携を密にとる機会を設け情報共有を図ると共に、今後のケアについても相談させていただき、一緒に支援していく関係作りに努めております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍の為、面会制限を余儀なくされてしまう事もございますが、ビデオ通話やSMS・電話等活用させていただき、関係性の保持に努めております。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	性格や互いの共通性を把握し、気の合う方々と交流が楽しめる様に、またトラブルにならない様に職員が間に入ったり、座席の工夫等行い、全員で和が持て活動できる様に支援しております。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族様との関係を断つことなく情報共有を図ると共に、退所後の生活の場の提供や案内、スムーズに次のサービスが受けられるようにサポート体制を敷いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の会話やコミュニケーションを通してご本人様の意向を確認するように努めております。また困難な場合は言動から思いを読み取り職員間で検討し入居者様本位のケアの提供に努めております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前にご本人様やご家族様から生活歴や暮らし方などの情報をいただくと共に、入居後も随時情報を職員間で共有させていただき、その人らしく生活できる様に情報収集に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々のADLの状態把握に努め、気が付いた事があれば報告しあうと共に、ミニ会議や申し送り等活用し、心身状態や現状把握に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	情報や意向をご本人様やご家族様から傾聴させていただき確認すると共に、申し送りやミニ会議で現状に即した支援に取り組んでおります。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の活動内容、その様子や過ごし方、ミニ会議や気づきなども電子機器に記載し、職員間でリアルタイムで共有し合い、随時検証も行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者様の状態把握を行いながら、ご家族様と密に連携を取り合うと共に、その時々生まれるニーズにも柔軟に対応する様に努めております。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍の為、地域との交流ができていない現状ではありますが、地域活動の情報収集に務めながら職員にも情報共有を行っております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様とご家族様の希望に応じ、かかりつけ医が決まっている場合は受診同行し連携を図ると共に、特に希望がない場合は24時間帯体制の訪問診療で適切な診療が受けられる様に支援しております。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が定期的に健康チェックを行うと共に、介護職員が日々の様子を観察し、何かあれば些細な事でもすぐに看護師へ相談・連絡を行い、入居者様が適切な処置が受けられる様に支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入居者様が入院した際は、病院と連携を図り、安心して治療が行え、早期に退院できるように情報交換や関係作りに努めております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の際にターミナルケアについて、ご説明させていただき意向確認すると共に、急変時や終末期にも再度確認しながら、その時々々の状況に応じて柔軟に対応しご本人様の意思を尊重したケアが行えるように取り組んでおります。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会を行い、急変時の対応や事故発生時に備え訓練を行うと共に「完全図解 新しい介護」の本を設置させていただき、いつでも見て勉強できる環境にも配慮しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防訓練を実施し、災害時に対応できるようにしております。その際に想定を詳しく設定する事で非常時の意識を高めると共に、反省点や改善点など今後に生かせる様に情報収集に努めております。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人一人の意見を尊重すると共に、人生の先輩としての敬意を忘れず、親しい中にも節度ある対応を心がけております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	些細な事でも選択できるようなお声掛けを行い、その都度、自己決定できる様に働きかけをしております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝食時と9時頃に、本日のスケジュールを入居者様にお伝えさせていただき、入居者様の気持ちを優先に考えた時間調整を行ったり、レクレーションを考え入居者様との時間の流れを大切にしております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洋服は自身で選ばれておりますので、その都度必要に応じアドバイスを行っております。またマニキュアを塗ったり会話や雑誌等活用しおしゃれに対して支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	新聞や広告を活用し食べたい物を伺ったり、一緒に食事の準備や片付けの協力をいただいております。また季節に合った献立や行事を行い季節感を味わっていただいております。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態や嗜好品を把握し、食事量・水分量の把握や1日に必要な栄養の確保や水分の確保に努めております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアへの声掛けを行い、夕食後は義歯を預かり洗浄、また訪問歯科導入により、すぐに相談できる体制が整っております。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	ほぼ自立している方ばかりですが、個々の排泄パターンを把握すると共に、失敗してしまった際はすぐに対応できる様にも常に気を配り支援しております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳の提供や水分補給・運動にも心掛けております。 またご本人様や医師と相談しながら医師の指示の範囲内で下剤の調整を行っております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回同じ曜日・同じ時間に入浴できる様に支援しておりますが、ご本人様の気持ちに寄り添い、時間の変更を行ったり、職員の変更や言葉かけの工夫等行いながら個々に応じた支援をさせていただいております。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に居室に行かれ、休みたいときに休んでいただいております。 最低、1日2回は居室の環境整備や確認の為、職員が見回りを行い、温度管理等も行っております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は各ユニットで常に確認できるように対応しております。 薬剤変更時は申し送りすると共に連絡帳で周知を徹底しており、病状の変化の確認にも努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の力に応じた役割を考え発揮していただき、自己の有用感を持つと共に、レクリエーションで工程も楽しんでいただける様にも声掛けしながら支援しております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在コロナ感染予防の為、ご家族様との外出は控えていただいておりますので、天気が良い時はなるべく散歩への声かけを行い、気分転換に努めております。その際、地域の方とは積極的に挨拶や話かけを行う様に努めております。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に、金銭の持ち込みはご遠慮いただいておりますが、どうしても場合はご家族様と相談の上お持ちいただくこともございます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に沿い日常的に会話を電話で行ったり、手紙を書いてくださった際は、住所を記入しご家族様や大切な人との交流が経つことなく過ごせるように支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感を味わっていただく為に、掲示物を常に考え、レクリエーションの中に取り入れた作品作りを行うと共に、リビングで過ごす事が苦痛でないように、温度や環境にも配慮しております。また職員の動きも環境の一部と考え、ドアの開閉音も注意を払っております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	状況に応じて座る場所を考え誘導し、皆様が落ち着いて過ごせるように常に気配りをしております。さらに耳が遠い為、孤立化しやすい方は職員が常に寄り添い、通訳やジェスチャーを交え交流を図っております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時になじみの物や思い出のある物を持参いただき、できるだけご本人様が安心して過ごせる環境整備に努めております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人一人の力量に応じて家具の配置を工夫したり、職員及び入居者様の動線を常に考え、安全に配慮し支援しております。また、目視で動ける様に張り紙等活用し自立した生活が行える様に支援しております。		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと